

その1

新生児聴覚スクリーニング検査を受けましょう。

1,000 人に 1～2 人は、生まれつき耳の聞こえに障害があるといわれていますが、その障害を早く発見して、適切な援助をすることにより、言葉の発達を促し、情緒や社会性を育てることができます。



産科医療機関では生まれた赤ちゃんを対象に、新生児聴覚スクリーニング検査を実施しています。

※ 検査費用の補助については
お住まいの市町にお問い合わせください



県ホームページへリンク
(新生児聴覚スクリーニング検査について)



その2

検査結果で要再検(リファア)の場合は、聴力の精密検査の前に 先天性サイトメガロウイルス感染症 の検査を受けましょう。

生後 21 日以内の赤ちゃんの
尿検査で診断できます。

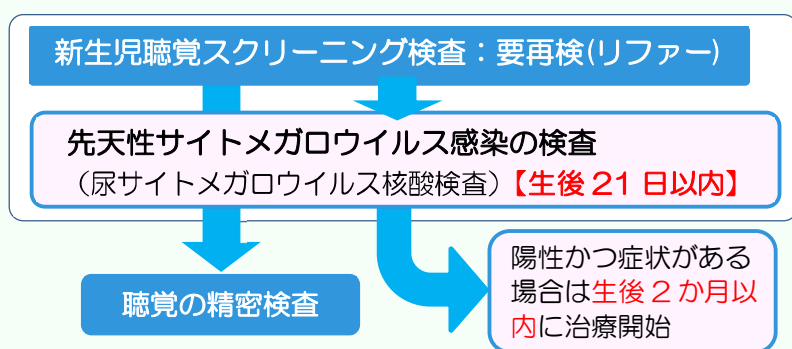
■ 新生児難聴の主な原因のひとつに、 先天性サイトメガロウイルス感染があります。

先天性サイトメガロウイルス感染は、生後 21 日以内の赤ちゃんの尿を採取し、検査することで診断できます。生後 21 日を超えると、先天性感染と後天性感染の区別が困難となるため、なるべく早く実施することが望まれます。

※ 兵庫県では、なるべく早く(生後 21 日以内)に確実に実施するため、初回の新生児聴覚スクリーニング検査
要再検(リファア)での尿検査(CMV 核酸検査)を推奨しています。



県ホームページへリンク
(先天性サイトメガロウイルス感染症について)



新生児聴覚スクリーニング検査で要再検(リファア)の場合は、聴力の精密検査の前に先天性サイトメガロウイルス感染症の検査の実施が推奨されています。

出産医療機関で検査ができない場合は、検査を受けられる医療機関を紹介してもらってください。

〔2018 年～生後 21 日以内の尿サイトメガロウイルス核酸検査が保険適用〕

■ 先天性サイトメガロウイルス感染症だった場合、 抗ウイルス治療薬という選択肢があります。

赤ちゃんの体内にサイトメガロウイルスが増殖するのを抑える抗ウイルス治療薬バルガンシクロビルを服用することで、難聴の改善や進行の抑制が期待できます。保険診療(治療開始：生後 2 か月以内)で行える治療ですので、小児科の主治医と相談の上進めてください。

〔2023 年～症候性先天性サイトメガロウイルス感染でのバルガンシクロビルが保険適用〕



バルガンシクロビルは、
1 日 2 回、赤ちゃんに飲ませる
ドライシロップ剤のお薬です。

妊娠中の感染予防のための注意事項 – 11 か条

注意事項をよく心得て生活することにより、お腹の赤ちゃんに害を及ぼす可能性のある感染症にかかるリスクを大幅に減らします。



1 石鹸と流水で、
しっかり手を洗って下さい。



2 子供と食器を共有、食べ残しを
食べるのはやめましょう。



3 肉は、しっかりと中心部まで
加熱してください。



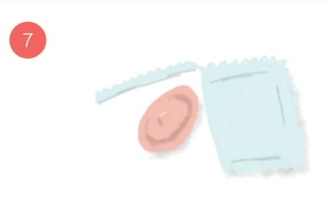
4 無殺菌のミルクや、それらから
作られた乳製品は避けましょう。



5 ネコの汚れたトイレに触れたり、
掃除をしったりするのはやめましょう。



6 げっ歯類やそれらの排泄物に
触れないようにしましょう。



7 妊娠中の性行為の際には、
コンドームを使いましょう。



8 母子感染症の原因となる感染症
について検査しましょう。



9 B群溶血性レンサ球菌の保菌者で
あるか検査してもらいましょう。



10 感染症から自分と胎児の身を守るため
に、妊娠前にワクチンを打ちましょう。



11 感染している人との接触を
避けましょう。

詳しい解説はトーチの会
ホームページをチェック！



<https://toxо-cmv.org/>

NPO法人トーチの会

先天性トキソプラズマ&サイトメガロウイルス感染症患者会

